

## Mechanism of repression of $11\beta$ -hydroxysteroid dehydrogenase type 1 by growth hormone in 3T3-L1 adipocytes

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2014-06-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 村岡, 東子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10470/30646">http://hdl.handle.net/10470/30646</a>

様式 (6)

## 学 位 審 査

学 位 番 号	甲 第 579 号	氏 名	村岡 東子
審 査 委 員 会	主 査 教 授	市原 淳弘	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>マウス培養脂肪細胞において、GH は直接作用として <math>11\beta</math>-HSD1 mRNA 発現を抑制し、GH によって局所で産生される IGF-I は、<math>11\beta</math>-HSD1 酵素活性に必要な NADPH を産生する H6PDH の mRNA 発現を抑制することが明らかにされた。</p> <p>従来の基礎研究により <math>11\beta</math>-HSD1 過剰発現マウスは内臓肥満となること、成人 GH 分泌不全症患者では内臓肥満を呈し、GH 補充療法によって内臓肥満が改善することが知られていた。本研究成果は、GH 補充による内臓肥満改善のメカニズムの一つを解明しただけでなく、IGF-I 補充よりも GH 補充の方が優位である根拠を与えた。しかしながら、酵素活性を測定していないこと、今回の知見は急性反応であり慢性病態を反映していないこと、マウスの研究であることが指摘された。</p> <p>ヒトでも同様な機序が証明され、成人 GH 分泌不全症患者における新規治療標的と成り得るかについては、今後の課題である。</p>			
本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]			